

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名			コード	22600	制度資金利子補給事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	振興班
基本施策			1		農水産業の振興	根拠法令	旭市農業近代化資金利子補給条例等	6	1	3	事業種別	
施策の展開			2		安定した農業経営の推進	戦略事業	12	制度資金利子補給事業			事業種別	
施策の展開						戦略事業					事業種別	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・農業者の施設等の整備や農業経営の近代化を推進する目的で、JA等の融資機関が行う農業近代化資金の融資に対して利子補給を行う。また、効率的・安定的な経営体を育成する目的で、日本政策金融公庫が認定農業者等へ融資する農業経営基盤強化資金に対して利子補給を行う。 1. 農業近代化資金利子補給の率(個人:0.5%、法人:0.2%) 2. 農業経営基盤強化資金利子補給の率(平成24年度から制度上無利子化。それ以前は借入年度による。)	農業近代化資金利子補給(昭和36年頃) 農業経営基盤強化資金利子補給(平成7年頃) ※1市3町合併後は平成17年7月1日付けで制定。	大きな変化はなし。	特になし。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 農業近代化資金利子補給補助金	2,966	農業近代化資金利子補給補助金	2,682	2,740	3,014	2,966	6,033
2. 農業経営基盤強化資金利子補給補助金	7,005	農業経営基盤強化資金利子補給補助金	15,116	12,428	9,123	7,005	5,837
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円					
1. 国庫支出金	0	1. 国庫支出金	17,798	15,168	12,137	9,971	11,870
2. 都道府県支出金	3,502	2. 都道府県支出金	7,558	6,214	4,562	3,502	2,918
3. 地方債	0	3. 地方債					
4. その他	0	4. その他					
事業費計(A)		事業費計(A)	10,240	8,954	7,575	6,469	8,952
5. 一般財源		5. 一般財源					

前年度増減理由	平成24年度の国の無利子化措置創設に伴う借入者数の減少による。
---------	---------------------------------

従事職員数	常時 1 人	最大 2 人	× 15 日 = 延べ 30 人
-------	--------	--------	------------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

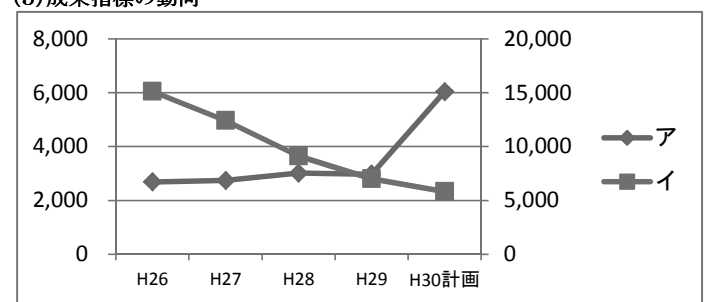
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・農業者の施設等の整備や農業経営の近代化を推進する目的で、JA等の融資機関が行う農業近代化資金の融資に対して利子補給を行った。また、効率的・安定的な経営体を育成する目的で、日本政策金融公庫が認定農業者等へ融資する農業経営基盤強化資金に対して利子補給を行った。		ア 農業経営の近代化	人	99	97	100	125	158
			イ 効率的・安定的な経営体の育成	人	253	232	186	136	129
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 制度資金を借り入れている農業者 農業経営の近代化 対象意図 制度資金を借り入れている農業者 効率的・安定的な経営体の育成		ア 農業近代化資金利子補給補助金交付額	千円	2,682	2,741	3,014	2,967	6,033
			イ 農業経営基盤強化資金利子補給補助金交付額	千円	15,116	12,428	9,124	7,005	5,837

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
		②		
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
		(2)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項(30年度に取り組む主な事項について記載)	今後の方向性
	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	平成24年度の国の無利子化措置創設に伴う借入者数の減少。	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)				
【コメント】(低下の場合、その理由)				
比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度
ア	259	59	273	△47
イ	△3,119	△2,688	△3,304	△2,119
成果動向				
ア				
イ				